科目名	臨床心理学	講師	非常勤講師
履修時期	2年　前期	単位数	1
		時間（回数）	30

＜科目設定理由＞

看護師は、対人援助の専門職として対象者との人間関係を形成する能力を身につけることは不可欠といえる。ここでは、人間に対する幅広い視点を持てるよう、人間や自己についての理解を深め、「こころ」への援助のあり方と看護実践への応用について学習する。カウンセリングの基本やアサーティブコミュニケーションについて学ぶことで、表に現れる行動から「気持ち」や「感情」といったこころの状態を推測しながら関係性を構築するためのアプローチ方法を習得する。また人間関係の構築には自分を知ることも重要であるため、自己を知覚し理解するための自己洞察力を身につける。

看護の対象者は発達段階や健康状態により、さまざまな悩みや葛藤、生活上の問題や課題を抱えている。どのような状況にある対象者と出会っても常に対象者に関心を寄せ、「逃げない覚悟」をもった看護を実践するための土台を形成する科目として設定する。

学習目標	1. 自分を知覚し理解するための自己洞察の意義が理解できる。 2. 自己洞察する力を身につけることができる。 3. カウンセリング理論が理解でき、基本的技法を身につけることができる。 4. 対象の状況に応じたアプローチをするためのコミュニケーションがわかる。
学習内容	1. 「こころ」とは何か…「自分を観察する自分」に気づく・育てる ・自己洞察とは ・自己一致と自己開示 ・プロセスレコード 2. 日常のなにげない相手との会話から「こころ」の姿に気づく 3. 医療行為をめぐる患者との会話から「こころ」の姿に気づく 4. カウンセリング的態度を看護にいかす…カウンセリング理論と技術 ・傾聴技法と積極技法 ・アサーティブコミュニケーション ・技術としてのコミュニケーション 5. 揺さぶられつつも「逃げない覚悟」を持った看護とは（1）…困難で複雑な状況をめぐって 6. 揺さぶられつつも「逃げない覚悟」を持った看護とは（2）…①死と痛みをめぐって ②終末期を生きる対象を知るために 7. さまざまな精神療法 ・認知行動療法 ・集団精神療法
授業形態	講義・グループワーク・ロールプレイ（演習）
評価方法および評価の観点	出席状況、授業中の態度・積極性を総合的に評価する
テキスト	テキストは用いず、必要に応じて資料を配布する
参考資料・図書	自己理解・他者理解を深めるプロセスレコード（日総研）
履修上の留意事項・受講条件	グループワークやロールプレイに積極的に参加してほしい